

団体総局厚生関係団体委員会・厚生労働部会「予算・税制等に関する政策懇談会」

予算・税制・一般政策の要望

公益社団法人 日本眼科医会

1. 白内障手術における消耗品の価格高騰に対する、診療報酬引き上げまたは消耗品代の消費税免除の要望

白内障手術とは

- 1) 認知症の予防、転倒による骨折を有意に減少させる等の超高齢化社会に非常に有益な手術
- 2) 国内で毎年約 150 万件施行

今年、外保連にて手術消耗品コストを全科で調査中、その中間報告

(ア) 大学病院における「K2811 ロ 水晶体再建術 (眼内レンズ挿入) その他」12,100 点

(一般的な白内障手術) に関する平均支出額

- ・ 医療材料費 59,386 円
- ・ 眼内レンズ 35,000 円 計 94,386 円

(イ) 121,000 円 (診療報酬 12,100 点) - 94,386 円 = 26,614 円

\* 現在の白内障手術は消耗品代が高く正当な人件費が残らない。実質赤字の手術。

**\* 白内障手術の診療報酬引き上げ、または消耗品代の消費税免除などの支援を要望いたします。**

2. 広角眼底カメラ (右図) 等の高額な眼科器械に対する補助または消費税免除の要望

- 1) 従来の眼底カメラは眩しく、眼底の中心部(45度)しか撮影できなかった (中図)
- 2) 新型の広角眼底カメラ(200度)は散瞳薬不要で待ち時間なし、眩しさが少なく広範囲の撮影可能 (左図)
- 3) 眼底疾患の診断が格段に向上
- 4) 眼科学会・医会が全国民に使用してほしいと考えている器械
- 5) 非常に高額

最も安価なタイプでも購入価格 1,200 万円 (消費税 120 万円、税込み 1,320 万円)

6) 診療報酬 D 256 眼底カメラ撮影 1 通常の方法の場合 ロ デジタル撮影 58 点(580 円)

\* 到底採算が取れないため現在これを購入できるのは大学病院などの大病院か一部の開業医

\* 国民に平等に当該検査ができるよう、このような高額な眼科器械を購入する機会を要望

**\* 広角眼底カメラ等の高額な眼科器械購入に対する補助、または消費税免除などの支援を要望します。**

